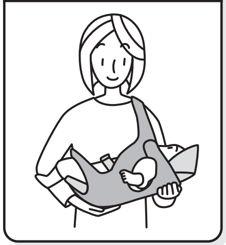
Combi

コンビ　ニンナナンナ
サット フィット 4ウェイ / サット フィット 3ウェイ

Baby Soft Carrier

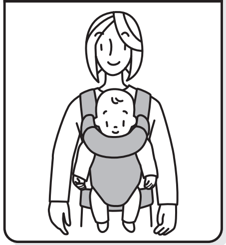
取扱説明書

ヨコだっこ



タテ対面だっこ

タテ前向きだっこ



おんぶ

子守帯を3年以上ご使用の場合、生地などの経年劣化により、本来の性能を果せず危険をまねくおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。

コンビ株式会社のホームページで、使いかたを動画で確認することができます。

品質保証書付

⚠注意
- 誤った使用方法でお子さまが傷を負う可能性がありますので、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。
- 本製品を他のかたにお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡しください。

もくじ

お使いいただく前に

ご使用の前に 1
安全にお使いいただくために 1
各部のなまえ 5
便利な使いかた 6
各部の調節方法 7

ヨコだっこ

新生児(0ヵ月)~首すわり(7kg・4ヵ月ころ)まで

ヨコだっこの準備 8
ヨコだっこで使うには 9
ヨコだっこシートの取り付けかた 16

タテ対面だっこ

首すわり(4ヵ月ころ)~ 13kg(24ヵ月)まで

タテ対面だっこの準備 18
タテ対面だっこで使うには 19

タテ前向きだっこ

首すわり(4ヵ月ころ)~ 13kg(24ヵ月)まで

タテ前向きだっこの準備 27
タテ前向きだっこで使うには 27

おんぶ

首すわり(4ヵ月ころ)~ 15kg(36ヵ月)まで

おんぶで使うには 30

Q&A

Q&A 34

お手入れ

本体・ヨコだっこシートのお手入れ 36
点検とアフターサービスについて 36
SGマークと被害者救済制度 37
品質保証書 38

ご使用の前に

このたびはニンナナンナ サット フィットシリーズをお買い上げいただき、ありがとうございます。
この製品は、お子さまを「だっこ」や「おんぶ」をして、外気浴、買い物のときなどに使用するための１人用子守帯です。ご使用の前に、５ページの「各部のなまえ」をご確認ください。

●サット フィット４ウェイタイプをお買い上げのお客様へ
お子さまを**「ヨコだっこ」「タテ対面だっこ」「タテ前向きだっこ」「おんぶ」**できます。

●サット フィット３ウェイタイプをお買い上げのお客様へ
お子さまを**「タテ対面だっこ」「タテ前向きだっこ」「おんぶ」**できます。

※この取扱説明書のうち、「タテ対面だっこ」「タテ前向きだっこ」「おんぶ」に関する内容をよくお読みの上、正しくお使いください。
（使いかたについては、18～33ページをお読みください）

●お子さまの乗せおろしについて
ソファや布団、ベッド、床の上など、安定した安全な場所で行ってください。

■使用できるお子さまの月齢について

（お子さまの発育により、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります）

使いかたのスタイル	参考月齢（新生児（0カ月）／首がすわる（4カ月ころ）／腰がすわる（7カ月ころ）／24カ月／36カ月）	限度体重
ヨコだっこ	新生児～首すわり（7kg・４ヵ月ころ）まで	7kgまで
タテ対面だっこ	首すわり～24カ月まで	13kgまで
タテ前向きだっこ	首すわり～24カ月まで	13kgまで
おんぶ	首すわり～36カ月まで	15kgまで

※冬場など厚着をしますと、お子さまの体格によっては使用できなくなることがあります。お子さまの体格を考慮し、無理のない服装でご使用ください。
※ヨコだっこ使用時のお子さまの身長は約64cmまでが目安です。
※腰ベルトのサイズは120cmまでです。
※本製品における新生児とは、体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上のお子さまを示します。

安全にお使いいただくために

安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者およびお子さまへの危害や物的損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や物的損害の大きさと危害の度合いを示すもので、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の２つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示	表示の内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

□ 枠（2～4ページ）の中に具体的な注意内容が書かれています。

⚠ 記号は警告・注意をうながす内容があることをお知らせするものです。

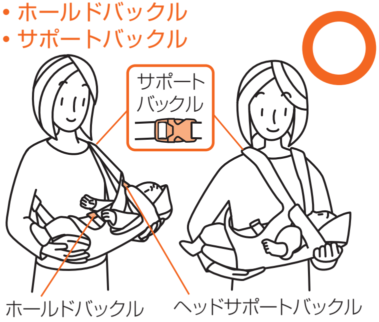
⚠警告

【とめる】

ご使用の際は、以下のバックルを必ずとめてください。とめないで使用するとお子さまが落下するおそれがあります。

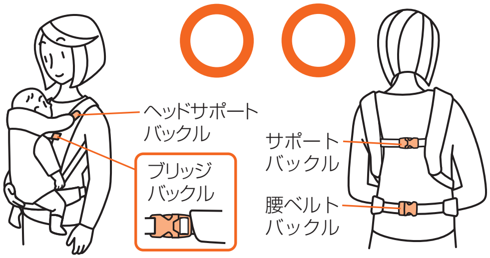
●ヨコだっこする時

- ヘッドサポートバックル（左右）
- ホールドバックル
- サポートバックル



●タテだっこ（対面・前向き）する時

- ヘッドサポートバックル（左右）
- ブリッジバックル
- 腰ベルトバックル
- サポートバックル



●おんぶする時

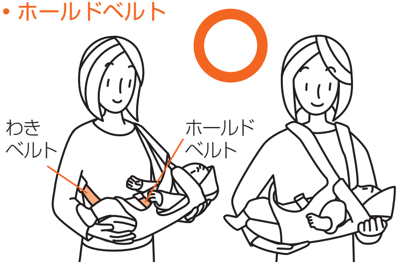
- ヘッドサポートバックル（左右）
- ブリッジバックル
- 腰ベルトバックル
- サポートバックル

【調節する】

ご使用の際は、以下のベルトの長さを使用者の身体にあわせて必ず調節してください。お子さまと使用者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

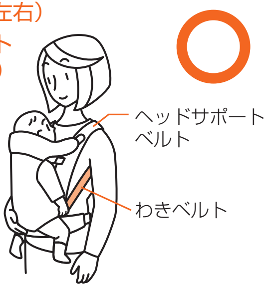
●ヨコだっこする時

- わきベルト（左右）
- ホールドベルト



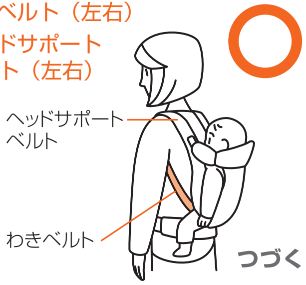
●タテだっこ（対面・前向き）する時

- わきベルト（左右）
- ヘッドサポートベルト（左右）



●おんぶする時

- わきベルト（左右）
- ヘッドサポートベルト（左右）

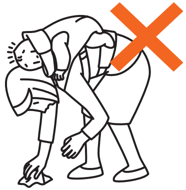


つづく

⚠警告

お子さまの乗せおろしは、必ず安全な場所で行ってください。
不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

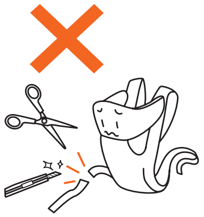
使用中に走ったり、飛び跳ねたり45°以上の前かがみや横曲げなどの無理な姿勢はしないでください。
お子さまが落下するおそれがあります。



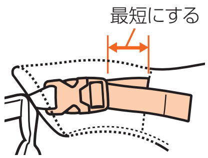
だっこするときは、必ず手で支えてください。
お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

お子さまの顔が使用者の身体に密着する、あごが胸につくほど首が強く曲がるなど、気道をふさぐ状態にならないよう注意してください。

製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。



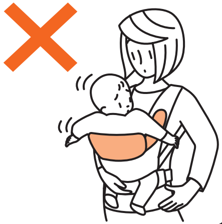
ヨコだっこ時は、左右のヘッドサポートベルトの長さを最短にしてお使いください。
長いとお子さまの頭部が下がり、お子さまが落下するおそれがあります。



次のようなお子さまには、ヨコだっこで使用しないでください。お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

- 体重7kg超のお子さま
- ヨコだっこシートのヘッドガードから頭部が出てしまうお子さま
- 寝返りができるお子さま

タテだっこやおんぶの際、ヘッドサポートを折って使うときには、お子さまの腕をヘッドサポートの上から出さないでください。落下のおそれがあります。



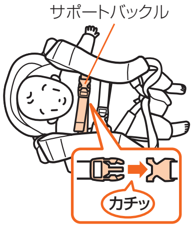
首がすわっていないお子さまに対しては、絶対にタテだっこやおんぶをしないでください。
お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

タテだっこやおんぶの際、お子さまの肩がヘッドサポートにあたってしまうときには、必ずお子さまの位置を調節してください。(23ページを参照)
あたったまま使用すると落下のおそれがあります。

タテだっこやおんぶの際、お子さまのわきの下が子守帯のシートにあたってしまうときには、必ずお子さまの位置を調節してください。(23ページを参照)
あたったまま使用するとお子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

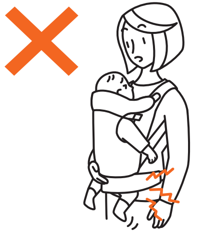
ヨコだっこするときは、お子さまの**頭部をおしりよりも高い位置にし、必ず後頭部を手で支えてください。**
不安定な状態で抱くと、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

サポートバックルを確実にとめてください。
とめないで使用すると落下するおそれがあります。



タテだっこやおんぶの際、**必ずヨコだっこシートをはずしてください。**
お子さまの頭部を圧迫するおそれがあります。

タテだっこやおんぶの際、腰パッドでお子さまの足をはさまないように注意してください。
お子さまの足を圧迫するおそれがあります。



⚠注意

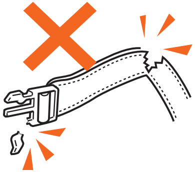
授乳後約30分以内や、連続2時間以上の使用はしないでください。
お子さまや使用者に思わぬ負担をかけるおそれがあります。

お子さまの様子をときどき確認してください。異常が見られたときには、すぐに使用をおやめください。

使用者が痛みや不快を感じたときは、使用を中止してください。

ヨコだっこやタテだっこの際、足元が見えにくくなる場合がありますので、歩行には注意してください。

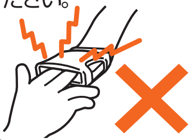
製品のほつれ、傷、やぶれを見つけたとき、またバックルなどの部品が1ヵ所でも破損したときには、すぐに使用を中止してください。
そのまま使用すると、故障や事故につながるおそれがあります。



製品を火の近くや屋外に放置しないでください。
熱や雨水などでバックルや生地などが変質し、事故につながるおそれがあります。

お子さまをだっこ、またはおんぶする以外の目的では、使用しないでください。破損・故障の原因になります。

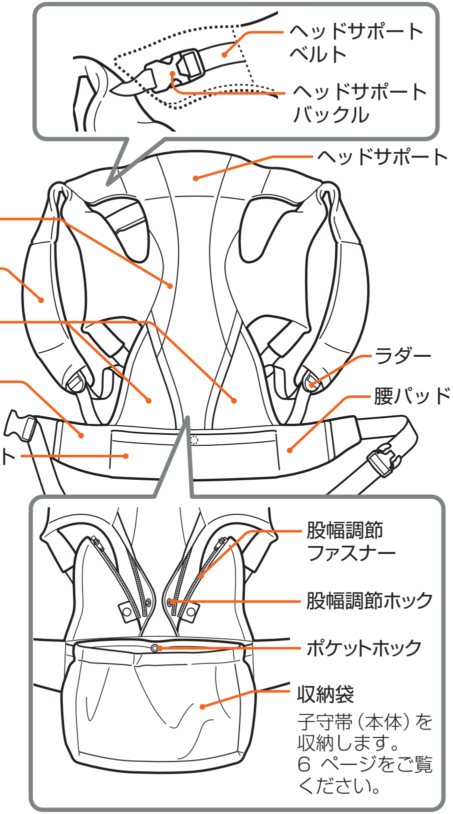
はずした状態のバックルの開口部に、お子さまが指を入れないように注意してください。すき間に指が入って抜けなくなったり、ケガをするおそれがあります。
製品を使用しないときは、バックルをとめた状態で保管してください。



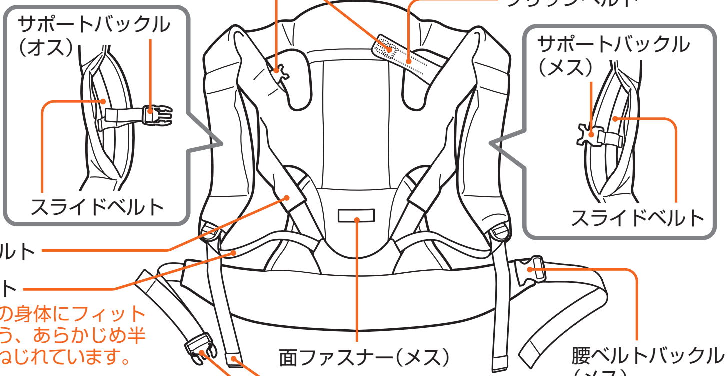
各部のなまえ

子守帯（本体）

外 側

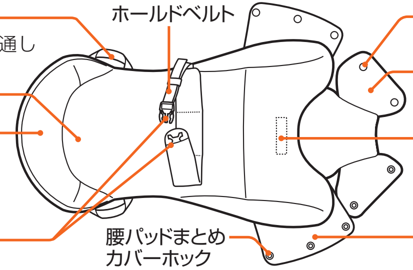


内 側



※サット フィット 4 ウェイタイプのブリッジバックル(オス・メス)は、肩ベルトに収納されています。

ヨコだっこシート



便利な使いかた

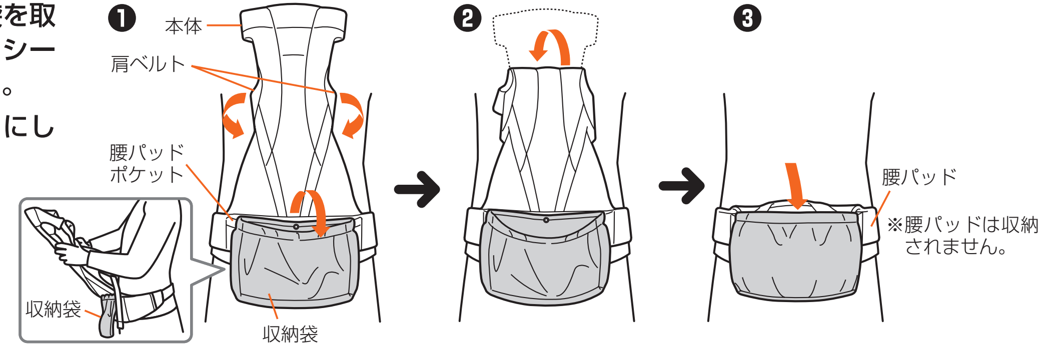
収納機能の使いかた（タテだっこ使用時は腰パッドをつけたまま収納できます）

子守帯（本体）のコンパクトな収納方法です。※ヨコだっこシートははずします。

❶ 腰パッドポケットから収納袋を取り出し、肩ベルトを子守帯のシート部内側に折ってまとめます。

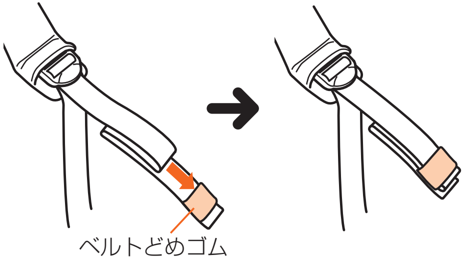
❷ そのまま使用者側に三つ折りにします。

❸ 収納袋に入れます。

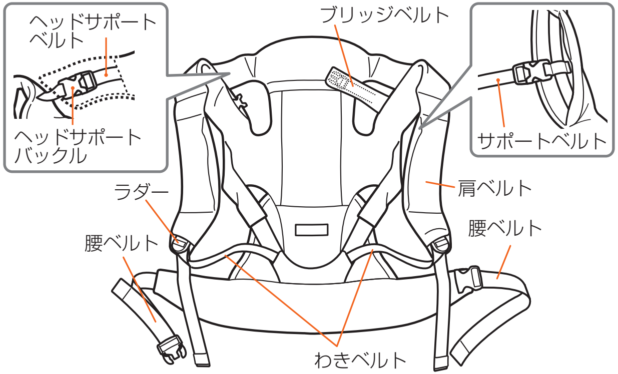


ベルトどめゴムの使いかた

わきベルトのあまりは折り返し、ベルトどめゴムでまとめることができます。

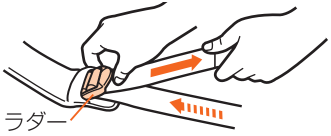


各部の調節方法

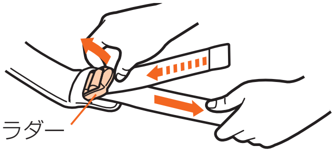


ベルトの長さを調節する方法

● 短くするときは、ベルトのあまりを引っぱります。



● 長くするときはラダーを立てて、ベルトを引き戻します。



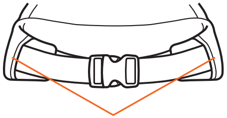
ベルトが引きにくいときは、図のようにラダーを立てて引いてください。
わきベルトは、タテだっこ・おんぶ時には子守帯を装着したままでも調節することができます。調節方法は、25 ページの手順 7 をご覧ください。
※ブリッジベルト、サポートベルトも同じ方法で調節することができます。
ここでは、わきベルトのイラストで説明しています。

ワンポイント

腰ベルトを調節するのは、このようなときです。

・使用者の身体にフィットさせる。
・お子さまを乗せる前に、身体にフィットするように長さを調節する。

腰ベルトのあまりは、図のように腰ベルト収納ポケットに差し込むことができます。



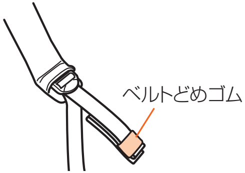
腰ベルト収納ポケット

ワンポイント

わきベルトを調節するのは、このようなときです。

・お子さまの高さを調節する。
・使用者の身体にフィットさせる。
・ヨコだっこ時、お子さまを良いアングルに調節する。

わきベルトのあまりは、図のようにベルトどめゴムでまとめることができます。



ワンポイント

ヘッドサポートベルトを調節するのは、このようなときです。

・タテだっこやおんぶの際、お子さまの頭まわりの寸法を調節する。

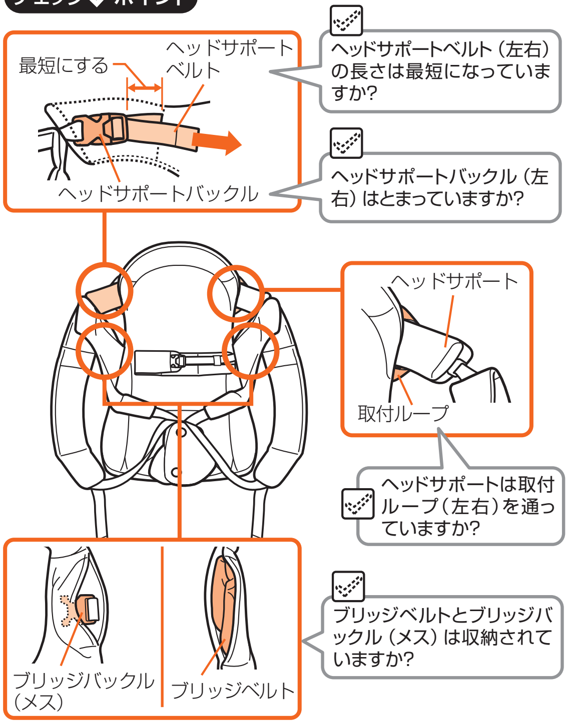
⚠警告 ヨコだっこ時は、左右のヘッドサポートベルトの長さを最短にしてお使いください。長いとお子さまの頭部が下がり、お子さまが落下するおそれがあります。

ヨコだっこの準備 ※サット フィット 4ウェイタイプで、ヨコだっこする場合にお読みください。

各部の状態を確認する

開封時はヨコだっこシートがセットされていますが、必ず下記のチェックポイントで各部の状態を確認してください。

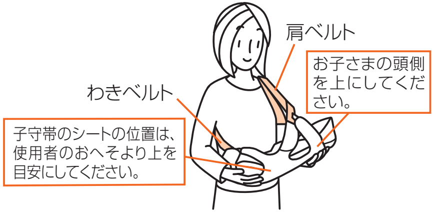
チェック✔ポイント



わきベルトの長さを調節する

お子さまを乗せる前に、使用者の身体に肩ベルトがあうようにわきベルトの長さをラダーで調節します。

左右の肩ベルトを重ねて、子守帯を肩からわきへななめにかける



※ ここでは片方の肩でヨコだっこするイラストで説明しています。
※ 両方の肩でヨコだっこする場合も、同様の調節をしてください。
※ わきベルトはあらかじめ半回転分ねじれています。

●高さの調節

子守帯の位置が低いときは
わきベルトを短くします。
（7ページ参照）

子守帯の位置が高いときは
わきベルトを長くします。
（7ページ参照）

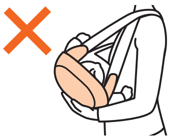
●アングルの調節

※両方の肩でヨコだっこする場合も、同様の調節をしてください。
使用者の身体に近い方のわきベルトを短めに調節（10cm程度）すると、お子さまをバランスよくだっこできます。
※開封時は、わきベルトが左右同じ長さにセットされています。必ずご使用の前に調節してください。

良い状態

お子さまが片側へ寄らないよう、わきベルトを調節してください。

悪い状態



角度が傾き、お子さまが片側へ寄ってしまいます。

ヨコだっこの装着方法について

ヨコだっこでは、シーンやニーズにあわせて装着方法を選ぶことができます。

さっと装着
片肩ヨコだっこ ⇨9～12ページ

さっとくぐって素早く装着することができます。

肩らくらく
両肩ヨコだっこ ⇨13～14ページ

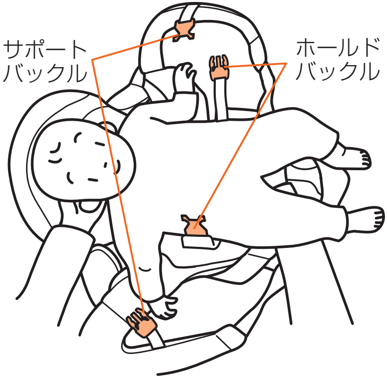
両方の肩で重さを支えるので、負担を軽減しながらだっこすることができます。

ヨコだっこで使うには 片肩ヨコだっこ

- 左だっこ・右だっこ、どちらでもお使いいただけます。ここでは、左だっこで説明しています。

1 ヨコだっこシートにお子さまを乗せる

安全な場所に子守帯を広げ、ヨコだっこシートのホールドバックルとサポートバックルをはずしたあと、お子さまを寝かせます。



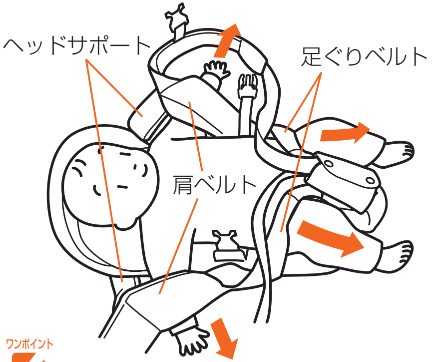
⚠警告 お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

【片方の肩でヨコだっこする場合】

2 お子さまの両足を、左右の足ぐりベルトに通す

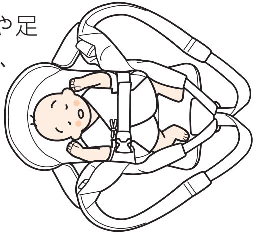
足ぐりベルトを引っぱると内部のゴムが伸び、足が通しやすくなります。

お子さまの両腕を、肩ベルトとヘッドサポートの間に通す



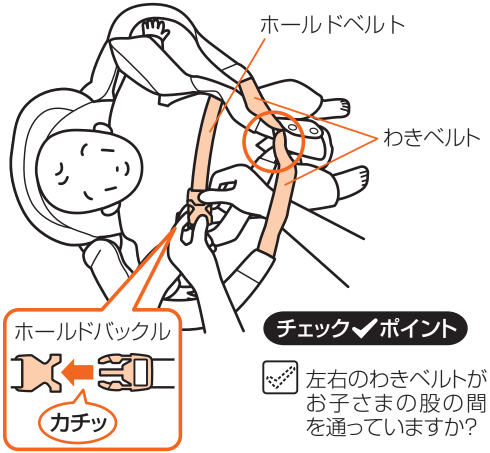
ワンポイント

お子さまの腕や足は出さなくても、ヨコだっこができます。



3 ホールドバックルをとめる

ホールドバックルを「カチッ」と音がするまで差し込み、ホールドベルトの長さを調節します。



チェック✔ポイント

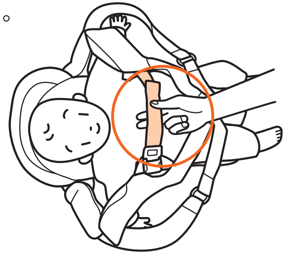
☐ 左右のわきベルトがお子さまの股の間を通っていますか？

⚠警告 ホールドバックルを確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。

ワンポイント

ホールドベルトの長さの目安

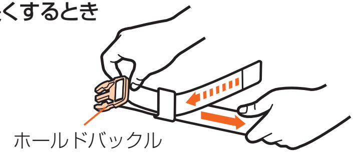
ホールドベルトの長さは、大人の指（第２関節）が２～３本入るくらいが目安です。



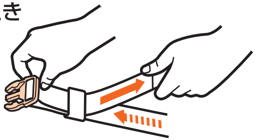
ワンポイント

ホールドベルトの調節方法

長くするとき



短くするとき



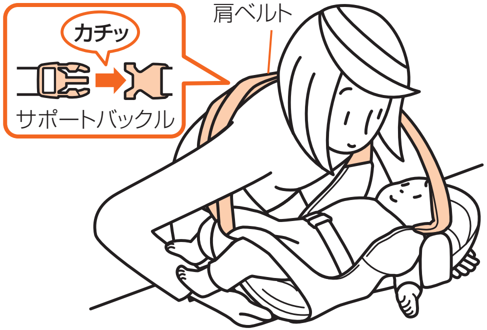
※バックルを立てなくても調節することができます。

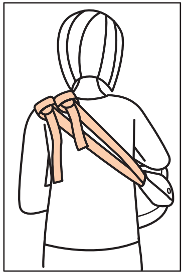
つづく→

ヨコだっこで使うには 片肩ヨコだっこ 【片方の肩でヨコだっこする場合】

4 お子さまをだっこする

サポートバックルをとめて左右の肩ベルトをあわせ、肩からわきへななめにかけます。
上体を起こし、お子さまの頭部とおしりの部分を手で支えます。

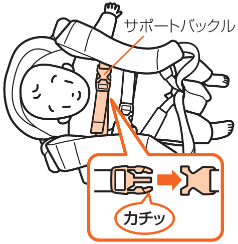




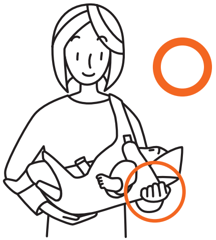
※お子さまが良いアングルになるよう、わきベルトを調節してください。（7～8ページ参照）

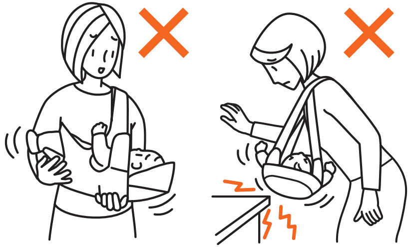
⚠警告

サポートバックルを確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。



●お子さまをヨコだっこするときは、図のように必ず後頭部を手で支えてください。





⚠警告

上記の内容を守らないと、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

⚠注意

上記の内容を守らないと、身体を前に傾けたときに使用者の身体から離れ、不安定な状態になります。

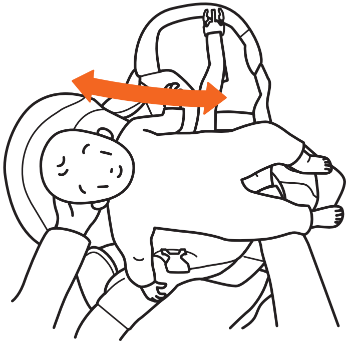
5 装着の状態をチェックする

鏡などに姿を映し、だっこの状態を最適な状態にしてください。
※右図は、片方の肩でヨコだっこする方法で説明しています。

警告	右記のチェックポイントを守らないと、お子さまが落下するおそれがあります。また、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

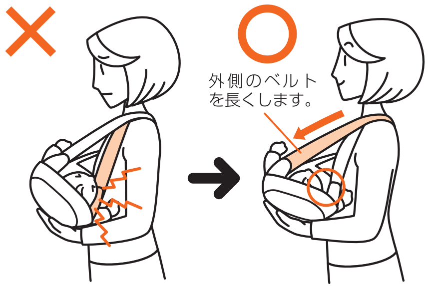
お子さまに肩ベルトがあたってしまう場合には

肩ベルトがあたらないように、お子さまの寝かせ位置を調節してください。

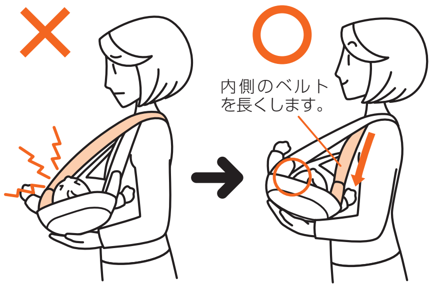


肩ベルトがあたらないように、肩ベルトの長さを調節してください。
※両方の肩でヨコだっこする場合も同様の調節をしてください。

●内側のベルトがあたる場合は、外側のベルトを長くしてください。



●外側のベルトがあたる場合は、内側のベルトを長くしてください。



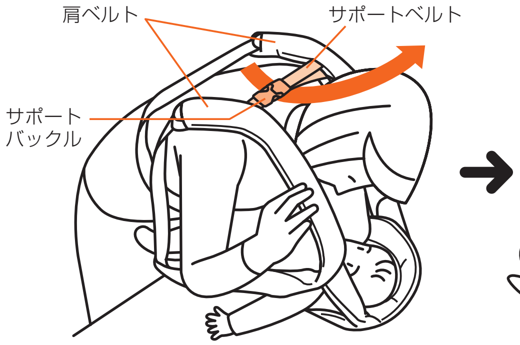
ヨコだっこで使うには **両肩ヨコだっこ** 【両方の肩でヨコだっこする場合】

1 ヨコだっこシートにお子さまを乗せる

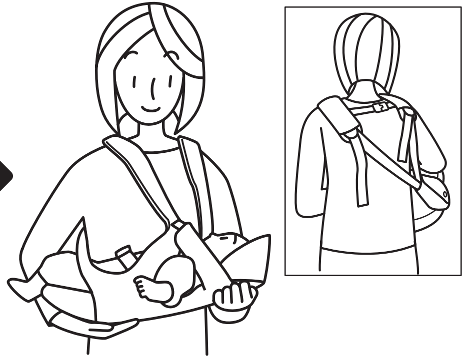
「ヨコだっこで使うには」(9～10ページ)の手順1～3をご覧になり、お子さまをシートに乗せてください。

2 お子さまをだっこする

サポートバックルをとめ、**サポートベルトと肩ベルトの間**をくぐります。

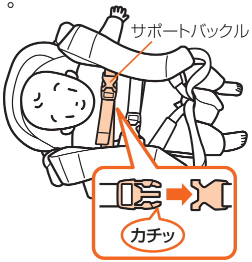


上体を起こし、お子さまの頭部とおしりを手で支えます。



⚠警告

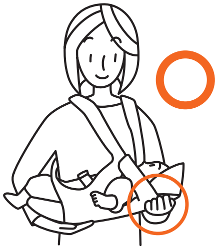
サポートバックルを確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。



3 装着の状態をチェックする

12ページの手順5「チェックポイント」をご覧ください。

●お子さまをヨコだっこするときは、図のように必ず後頭部を手で支えてください。



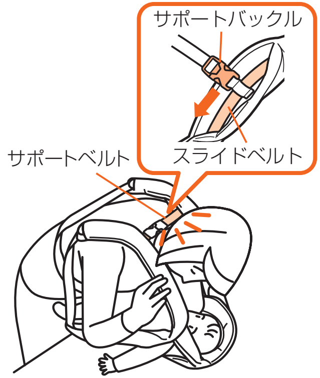
⚠警告 上記の内容を守らないと、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

⚠注意 上記の内容を守らないと、身体を前に傾けたときに使用者の身体から離れ、不安定な状態になります。

ワンポイント

サポートベルトが首にあたる場合は

• サポートバックルをスライドさせて位置を調節してください。



• サポートベルトの長さを調節してください。（7ページ参照）

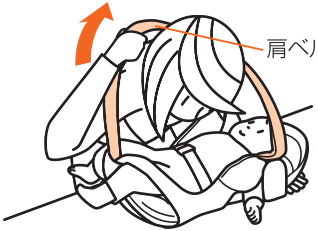
⚠注意 使用者が痛みや不快を感じたときは、使用を中止してください。

ヨコだっこで使うには

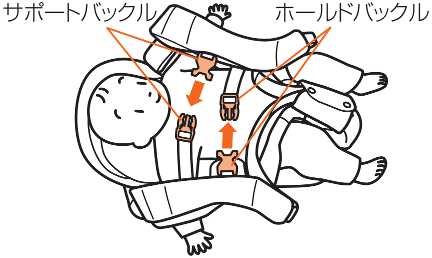
ヨコだっこのはずしかた

1 **お子さまを寝かせ、肩ベルトをはずす**

お子さまを両手で支えながら、安全な場所に寝かせ、使用者から肩ベルトをはずします。



2 **ホールドバックルとサポートバックルをはずす**



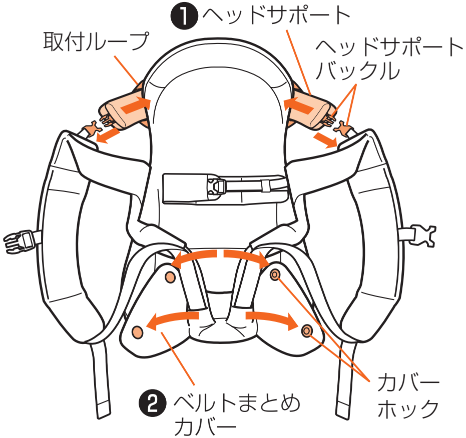
3 **両腕と両足を子守帯から抜いたあと、お子さまをおろす**

ヨコだっこシートのはずしかた

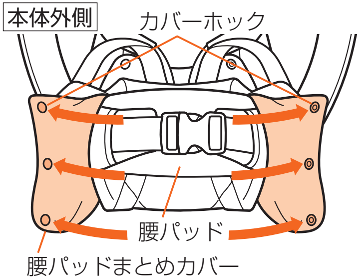
開封時はヨコだっこシートがセットされていますが、洗濯をするときやタテだっこ・おんぶをするときには、次のようにはずしてください。

1 **❶左右のヘッドサポートバックルをはずし、左右の取付ループからヘッドサポートを引き抜く**

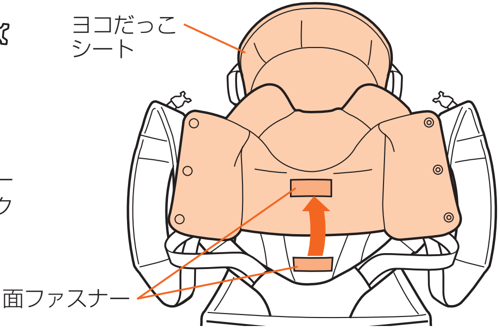
❷ベルトまとめカバーのカバーホック（2ヵ所）をはずす



2 **腰パッドまとめカバーのホック（3ヵ所）をはずす**



3 **シート裏面の面ファスナーをはずし、子守帯（本体）からヨコだっこシートをはずす**



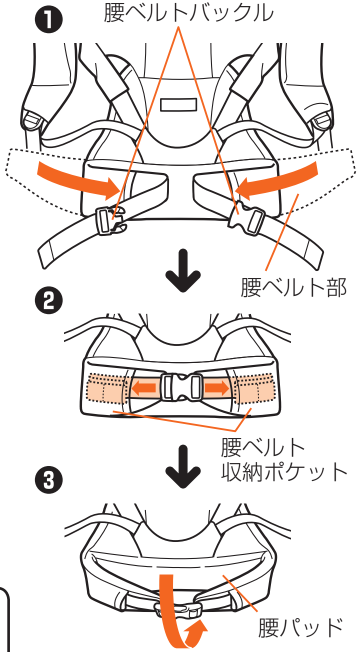
ヨコだっこシートの取り付けかた

1 腰パッドを折りたたむ

❶ 本体腰ベルト部の左右を内側に折りたたみ、腰ベルトバックルをとめる

❷ 腰ベルトのあまりを腰ベルト収納ポケットに差し込む

❸ まとめた腰パッド部を本体外側に折り曲げる



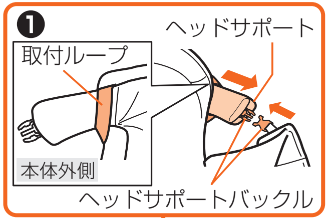
⚠警告

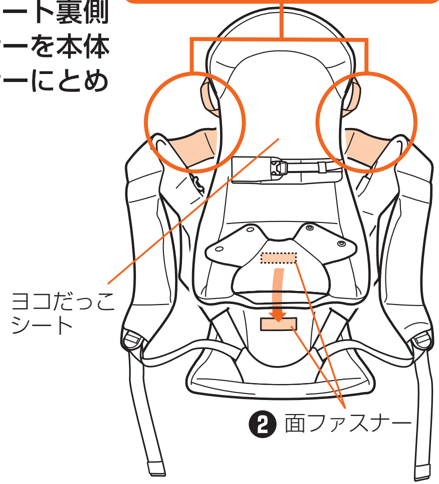
ヨコだっこシートを取り付けるときは、バックルやホック、面ファスナーを確実にとめてください。使用中にヨコだっこシートがはずれると、お子さまが落下するおそれがあります。

2 本体内側にヨコだっこシートをのせる

❶ 左右のヘッドサポートをヨコだっこシートの取付ループに通し、ヘッドサポートバックルをとめる

❷ ヨコだっこシート裏側の面ファスナーを本体の面ファスナーにとめる





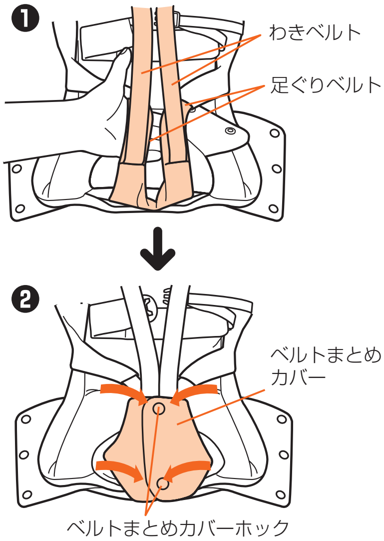
つづく

ヨコだっこで使うには

3 ベルトまとめカバーのカバーホックをとめる

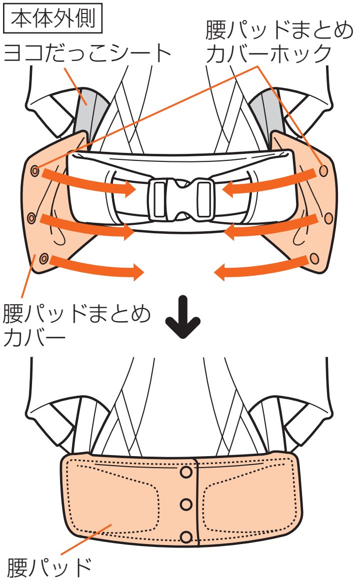
❶ 左右のわきベルトと足ぐりベルトを手でまとめる

❷ そのまま手で押さえながらベルトまとめカバーホック(2ヵ所)をとめる



4 腰パッドまとめカバーにまとめた腰パッドを収納する

本体を裏返し、ヨコだっこシートの腰パッドまとめカバーを取り出し、腰パッドをつつみ、腰パッドまとめカバーホック(3ヵ所)でとめる

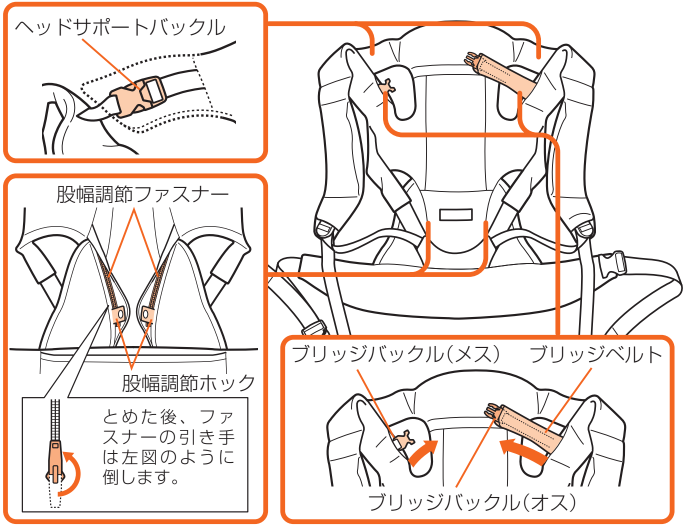


タテ対面だっこの準備

- **サット フィット 4ウェイタイプのみ、ヨコだっこシートをはずし、ブリッジベルトとブリッジバックル（メス）を肩ベルトの収納から取り出してご使用ください。**
  ヨコだっこシートをはずすには、「ヨコだっこシートのはずしかた」（15ページ）をご覧ください。
- 取り付ける前に腰パッドがフィットするように、腰ベルトの長さを調節しておきます。腰ベルトの長さ調節のしかたは、「各部の調節方法」（7ページ）をご覧ください。

1 左右のヘッドサポートバックルがとまっていることを確認する

2 股幅調節ファスナーとホックがとまっていることを確認する

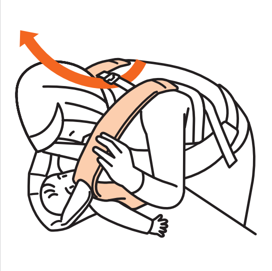


タテ対面だっこの装着方法について

タテ対面だっこでは、シーンやニーズにあわせて装着方法を選ぶことができます。

室内で便利
くぐるだけ装着 ⇨19～22ページ

後ろに手をまわさずに、らくらく装着することができます。

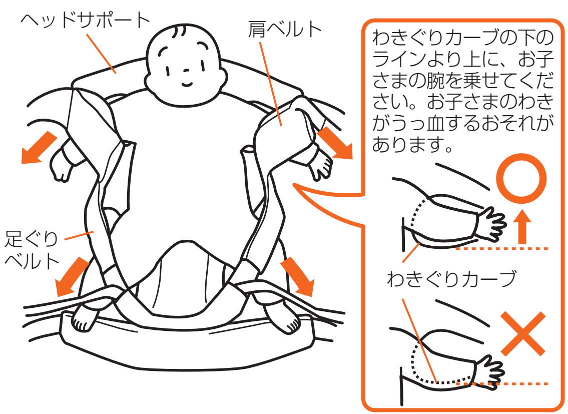


お出かけ先で便利
取りつけてから装着 ⇨24～25ページ

先に子守帯を取り付けてからお子さまを乗せます。

タテ対面だっこで使うには くぐるだけ装着 (子守帯にお子さまを乗せてからだっこする場合)

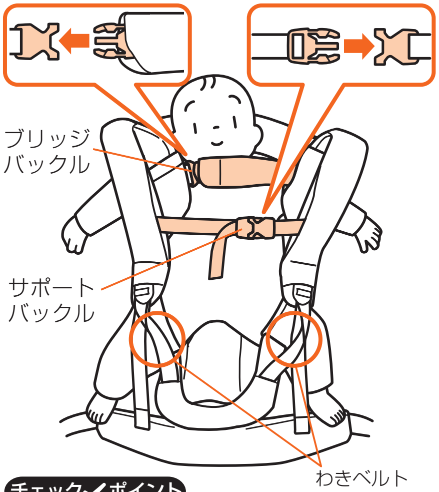
1 お子さまを子守帯に乗せ、図のように両足と両腕を通す



⚠警告
お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

⚠注意
わきぐりカーブより下にお子さまの腕を乗せて装着すると、お子さまのわきがうっ血するおそれがあります。

2 ブリッジバックルとサポートバックルをとめる



チェック✔ポイント

- 左右のわきベルトがお子さまの股の間を通っていますか?
- ヘッドサポートバックルはとまっていますか?

※ブリッジベルトは、通気性が確保されているので、お子さまの呼吸には支障ありません。

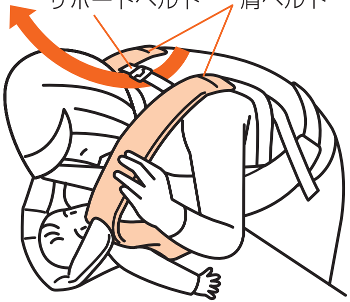
⚠警告
ブリッジバックルとサポートバックルは確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。

3 腰ベルトバックルをとめる

腰ベルトバックルをとめ、「カチッ」と音がするまでしっかり差し込みます。

ワンポイント
負担を軽減するには、腰パッドをウエストより少し下の、腰骨の位置に装着するのがおすすめです。使用者が快適な位置に装着してください。

4 肩ベルトとサポートベルトの輪をくぐり、肩ベルトを肩にかける

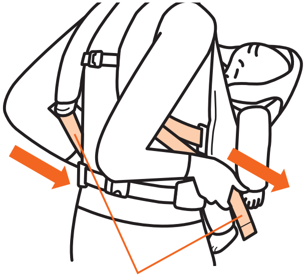


ワンポイント

くぐりやすくするため、あらかじめわきベルトは長めに調節しておきます。

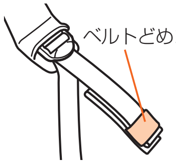
5 使用者の身体にフィットさせる

わきベルトの先端を矢印方向に引き、あまりが左右同じ長さになるように調節します。

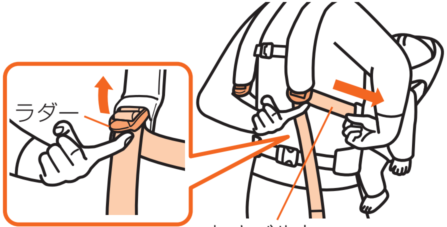


ワンポイント

わきベルトのあまりは、図のようにベルトどめゴムでまとめることができます。



● 長くするときはラダーを指で上に起こし、わきベルトを図のように引き戻します。



つづく

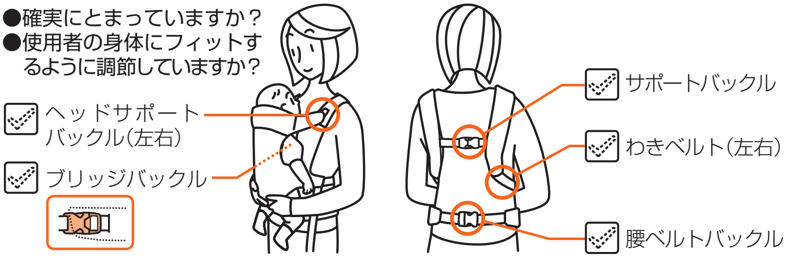
タテ対面だっこで使うには くぐるだけ装着 （子守帯にお子さまを乗せてからだっこする場合）

6 装着の状態をチェックする

鏡などに姿を映し、だっこの状態を最適な状態にしてください。

チェック✔ポイント

●確実にとまっていますか？
●使用者の身体にフィットするように調節していますか？



●お子さまについて

- ☑ お子さまの頭まわりを締めつけすぎていませんか？(7ページ参照)
- ☑ お子さまの肩がヘッドサポートにあたっていませんか？(23ページ参照)
- ☑ お子さまのわきの下がシートにあたっていませんか？(23ページ参照)
- ☑ お子さまのももがシートに圧迫されていませんか？(23ページ参照)
- ☑ お子さまの足が腰パッドにはさまれていませんか？

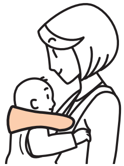
> ⚠ **警告**
> チェックポイントを守らないと、
> - お子さまが落下するおそれがあります。
> - お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
> - お子さまのわきやももがうっ血するおそれがあります。

> ⚠ **注意**
> お子さまの頭で前方の視界がさまたげられないように調節してください。
> また、足元が見えにくくなることがありますので、歩行には注意してください。

ワンポイント

ヘッドサポートを折って使うこともできます。

ヘッドサポートを外側に折り曲げると、首を支えつつお子さまの視界を広げることができます。



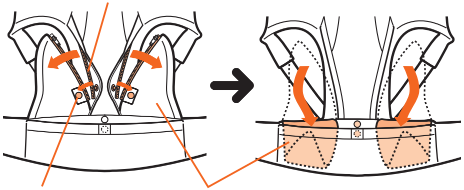
ヘッドサポートを折り曲げないときはヘッドサポートが、眠ってしまったお子さまの頭をしっかり支えます。
34ページのQ&A「ヘッドサポートの使いかた」を参照してください。

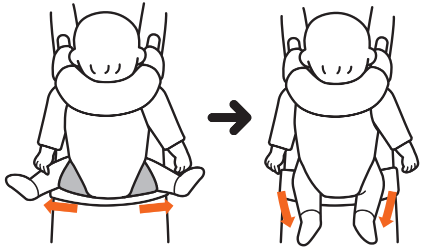
※ヘッドサポートは、通気性が確保されているのでお子さまの呼吸には支障ありません。

ワンポイント

低月齢時、大きく足を開くことが苦手なお子さまは

股幅調節シート部をはずしてご使用いただけます。
(股幅調節シート部のはずしかたは、27ページを参照してください。)



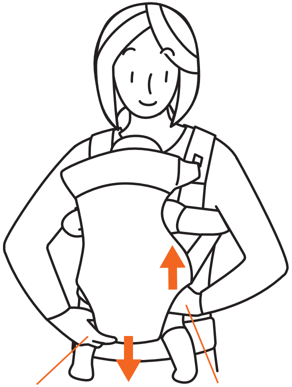


お子さまの位置(だっこの高さ)を調節する

●お子さまのわきの下が子守帯のシートにあたってしまったり、ももが圧迫される場合には

シートのみを下方に引っぱり、シートとお子さまの身体のすき間を調節してください。

※必要に応じてわきベルトの長さを調節してください。(7ページ参照)



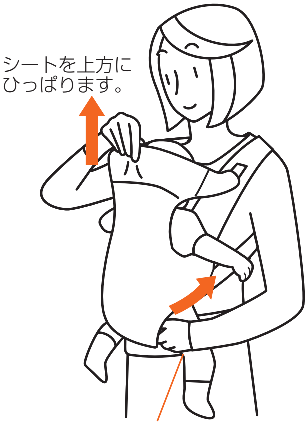
下図の場所に折りたたんだタオルを入れ、お子さまのおしりの高さを調節してください。

●お子さまの肩がヘッドサポートにあたってしまう場合には

シートのみを上方に引っぱり、お子さまのおしりを使用者側に引き寄せてヘッドサポートとお子さまの肩のすき間を調節してください。

※お子さまが成長し、お子さまの身体の位置を調節しても肩があたる場合は使用をやめてください。

※必要に応じてわきベルトの長さを調節してください。(7ページ参照)

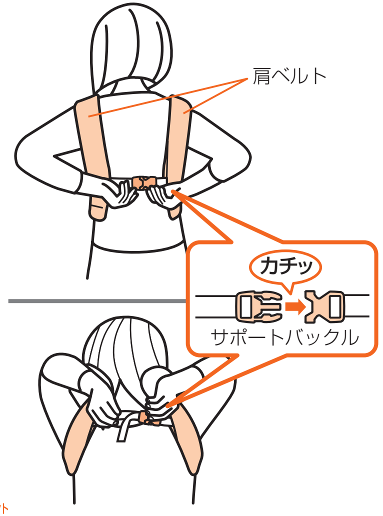


タテ対面だっこで使うには **取りつけてから装着** (子守帯を取り付けてからお子さまをだっこする場合)

- サット フィット 4ウェイタイプのみ、ヨコだっこシートをはずしてご使用ください。
  ヨコだっこシートをはずすには、「ヨコだっこシートのはずしかた」(15ページ)をご覧ください。
- ヘッドサポートベルトの調節のしかたは、7ページの「各部の調節方法」をご覧ください。
  わきベルトを長めに調節しておくと、お子さまを乗せやすくなります。

1 子守帯を取り付ける

肩ベルトを肩にかけ、首の後ろまたは背中でサポートバックルを「カチッ」と音がするまで差し込みます。



ワンポイント

サポートバックルがとめにくい場合は、先にバックルをとめてからベルトをくぐって腕を通し、子守帯を取り付けてください。

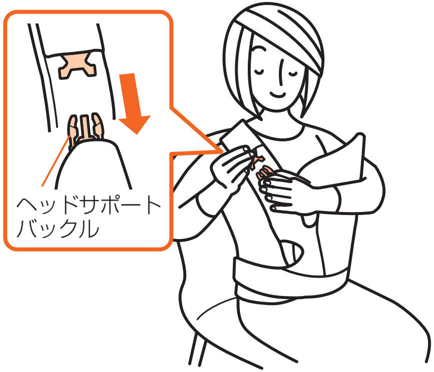
2 腰ベルトバックルをとめる

腰ベルトバックルをとめ、「カチッ」と音がするまでしっかり差し込みます。

ワンポイント

負担を軽減するには、腰パッドをウエストより少し下の、腰骨の位置に装着するのがおすすめです。使用者が快適な位置に装着してください。

3 左右のヘッドサポートバックルをはずす



つづく →

タテ対面だっこで使うには **取りつけてから装着** (子守帯を取り付けてからお子さまをだっこする場合)

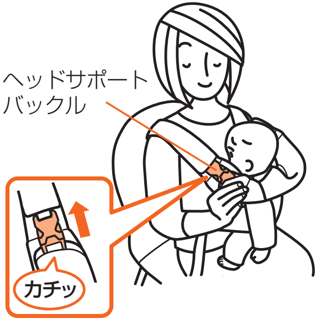
4 お子さまを子守帯に乗せ、両足を通す

使用者が安全な場所に座った状態で、お子さまを向かいあわせに抱き上げ、子守帯に乗せます。お子さまの足を左右の足ぐりベルトに通します。

⚠警告	お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。(他の人に介添えをしていただくとより安全です。)不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

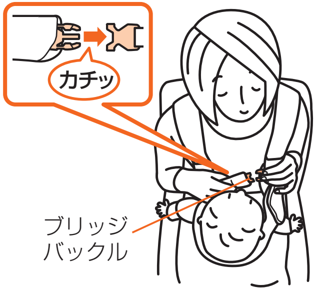
5 ヘッドサポートバックルをとめる

ヘッドサポートバックルをお子さまの肩の上で「カチッ」と音がするまでとめます。



6 ブリッジバックルをとめる

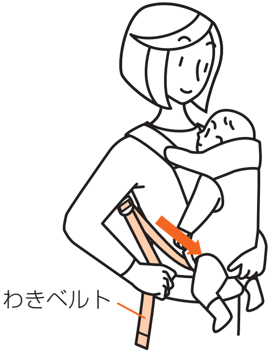
「カチッ」と音がするまで差し込みます。



⚠警告	ブリッジバックルを確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。

7 左右のわきベルトの長さを調節し、使用者の身体にフィットさせる

わきベルトのあまりを左右同じ長さに調節します。(7ページ参照)



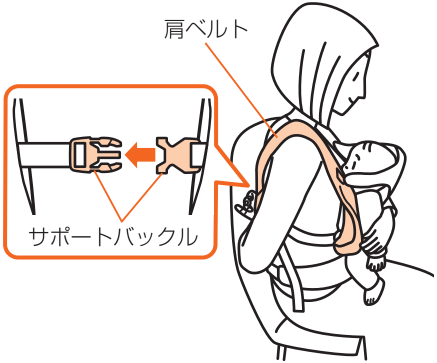
8 装着の状態をチェックする

21ページの手順6「チェックポイント」をご覧ください。

タテ対面だっこのはずしかた

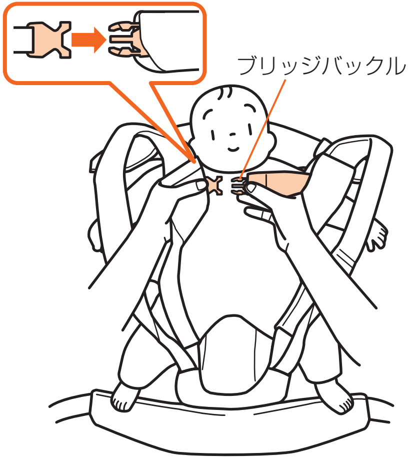
1 サポートバックルをはずして、肩ベルトをはずす

安全な場所に座り、お子さまを支えながら、サポートバックルをはずし、肩から左右の肩ベルトをはずします。



2 腰ベルトバックルをはずす

3 お子さまを安全な場所へ寝かせ、ブリッジバックルをはずす



4 足と腕を子守帯から抜き、お子さまをおろす

足ぐりベルトを引っぱり、お子さまの足を足ぐりベルトから抜きます。

腕も子守帯から抜いて、抱き上げます。

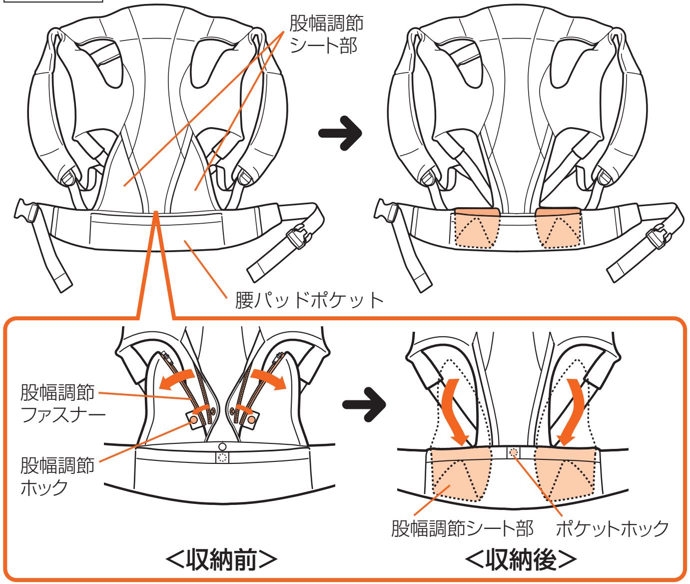
タテ前向きだっこの準備

- **サット フィット 4ウェイタイプのみ、ヨコだっこシートをはずしてご使用ください。**
  ヨコだっこシートをはずすには、「ヨコだっこシートのはずしかた」（15ページ）をご覧ください。
- タテ前向きだっこで使うときは、股幅調節シート部をはずして腰パッドポケットに収納します。

1 股幅調節シート部を腰パッドポケットに収納する

左右の股幅調節ホックと股幅調節ファスナーをはずし、股幅調節シート部をそれぞれ腰パッドポケットに収納し、ポケットホックをとめます。

本体外側



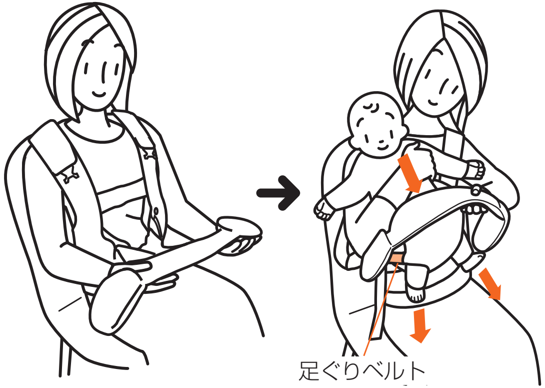
タテ前向きだっこで使うには

1 子守帯を取り付ける

「タテ対面だっこで使うには（子守帯を取り付けてからお子さまをだっこする場合）」（24ページ）の手順1～3をご覧になり、子守帯を取り付け、お子さまを乗せる準備をしてください。

2 お子さまを子守帯に乗せ、両足を通す

使用者が安全な場所に座った状態で、お子さまを前向きに抱きあげ、子守帯に乗せます。
お子さまの足を左右の足ぐりベルトに通します。

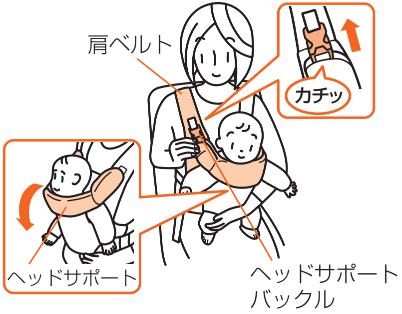


⚠警告
お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

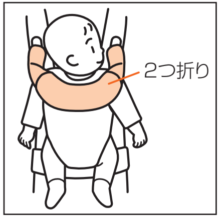
⚠警告
必ず左右の股幅調節ファスナーをはずしてください。
お子さまのももがうっ血するおそれがあります。

3 ヘッドサポートを折りたたみ、ヘッドサポートバックルをとめる

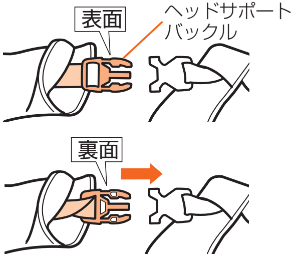
ヘッドサポートを外側に折りたたみます。お子さまの顔まわりを締めつけすぎないようヘッドサポートベルトの長さを調節してください。(7ページ参照)左右のヘッドサポートバックルを「カチッ」と音がするまでとめます。



● お子さまの口元がヘッドサポートにかかってしまう場合はさらにもう1回ヘッドサポートを折り返してください。



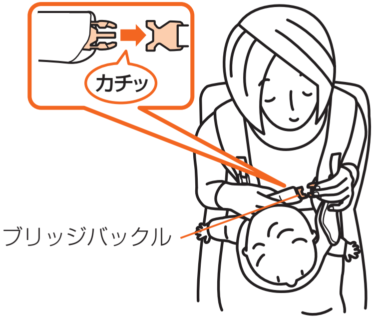
ヘッドサポートを2回折る場合は、ヘッドサポートバックル(オス)を裏面にして差し込んでください。
バックルを表面のまま差し込むと、うまくヘッドサポートが折れない場合があります。



> **⚠警告**
> タテ前向きだっこでご使用の際は、必ずヘッドサポートを折りたたんでください。
> お子さまの顔を圧迫し、傷害を負うおそれがあります。

4 ブリッジバックルをとめ、わきベルトのあまりを左右同じ長さに調節する

「カチッ」と音がするまで差し込みます。



つづく →

タテ前向きだっこで使うには

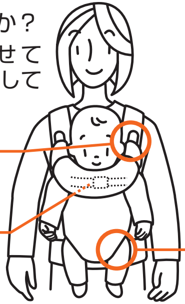
5 装着の状態をチェックする

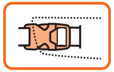
鏡などに姿を映し、だっこの状態を最適な状態にしてください。

チェック✔ポイント

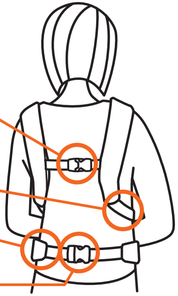
●確実にとまっていますか？
●使用者の身体にあわせてフィットするように調節していますか？

- ヘッドサポートバックル(左右)
- ブリッジバックル





- サポートバックル
- わきベルト(左右)
- 腰ベルト
- 腰ベルトバックル



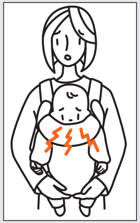
チェック✔ポイント

●お子さまについて

- ヘッドサポートが口にかかっていませんか？
  あたっている場合は、お子さまの位置を調節してください。
- お子さまのわきの下がシートにあたっていませんか？
- 股幅調節ファスナー(左右)をはずしていますか？

⚠警告

チェックポイントを守らないと、
• お子さまが落下するおそれがあります。
• お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
• お子さまのわきやももがうっ血するおそれがあります。



お子さまの口がヘッドサポートにかかってしまう場合には28ページ、わきの下がシートにあたってしまう場合には、23ページの方法を参照し、調節してください。

タテ前向きだっこのはずしかた

「タテ前向きだっこで使うには」の手順を逆に行ってください。(27～28ページ手順4→3→2)

おんぶで使うには

●**サット フィット 4ウェイタイプのみ、ヨコだっこシートをはずしてご使用ください。**
ヨコだっこシートをはずすには、「ヨコだっこシートのはずしかた」（15ページ）をご覧ください。
●ヘッドサポートベルトの調節のしかたは、7ページの「各部の調節方法」をご覧ください。

1 子守帯にお子さまを乗せる

「タテ対面だっこで使うには（子守帯にお子さまを乗せてからだっこする場合）」（19ページ）の手順1、2をご覧になり、子守帯にお子さまを乗せてください。

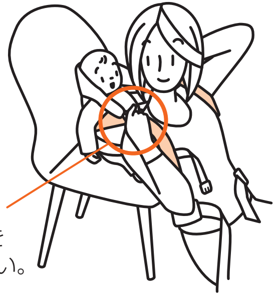
チェック✔ポイント

- 左右のわきベルトがお子さまの股の間を通っていますか？
- ブリッジバックル、ヘッドサポートバックルはとまっていますか？

⚠警告 お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

2 お子さまを背負う

お子さまを乗せて立ち上がるときは、肩ベルトの付け根部分をしっかり持ってください。
※他の人に介添えしていただくと、より安全です。



3 サポートバックルをとめる

サポートベルトの長さと高さを適切に調節します。

⚠注意 使用者が痛みや不快を感じたときは、サポートバックルの高さを調節して対応してください。それでも痛みや不快を感じたときは、使用を中止してください。

つづく

おんぶで使うには

4 腰ベルトバックルをとめる

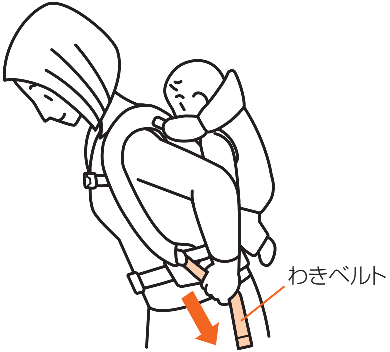
腰ベルトバックルをとめ、「カチッ」と音がするまでしっかり差し込みます。

⚠警告

腰パッドでお子さまの足をはさまないように注意してください。
お子さまの足がうっ血するおそれがあります。

5 わきベルトを調節し、身体にフィットさせる

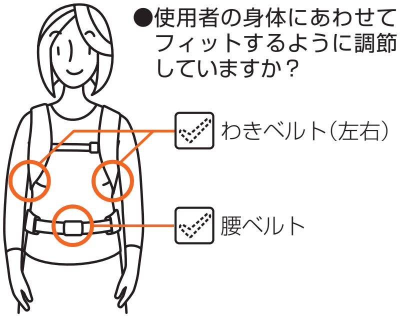
わきベルトのあまりを左右同じ長さに調節します。



6 装着の状態をチェックする

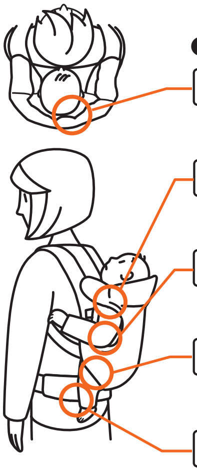
鏡などに姿を映し、おんぶの状態を最適な状態にしてください。

チェック✔ポイント



⚠警告

チェックポイントを守らないと、
- お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
- お子さまのわきやももがうっ血するおそれがあります。



●お子さまについて

- お子さまの頭まわりを締め付けすぎていませんか?
- お子さまの肩がヘッドサポートにあたっていませんか?(23ページ参照)
- お子さまのわきの下がシートにあたっていませんか?(23ページ参照)
- お子さまのももがシートに圧迫されていませんか?(23ページ参照)
- お子さまの足が腰パッドにはさまれていませんか?

ワンポイント

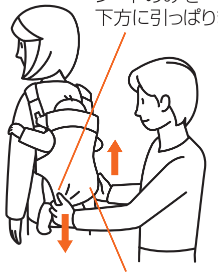
おんぶのときは、約30分ごとにお子さまの様子を確認してください。

おんぶしているときは、使用者からお子さまが見えませんので、特に低月齢のお子さまの場合は、約30分ごとにお子さまをおろして様子を確認するように心がけてください。

●お子さまの肩がヘッドサポートにあたってしまう場合には、23ページの方法を参考に調節してください。

※お子さまが成長し、お子さまの身体の位置を調節しても肩があたる場合は使用をやめてください。

●お子さまのわきの下が子守帯のシートにあたってしまったり、ももが圧迫される場合には、23ページの方法を参考に調節してください。



下図の場所に折りたたんだタオルを入れ、お子さまのおしりの高さを調節してください。

※ここでは、タテ対面だっこのイラストで説明しています。

つづく

おんぶで使うには

ワンポイント

ヘッドサポートを折って使うこともできます。

ヘッドサポートを外側に折りたたむと、首を支えつつお子さまの視界を広げることができます。

ヘッドサポートを折りたたまないときはヘッドサポートが、眠ってしまったお子さまの頭をしっかり支えます。

34ページのQ&A「ヘッドサポートの使いかた」を参照してください。

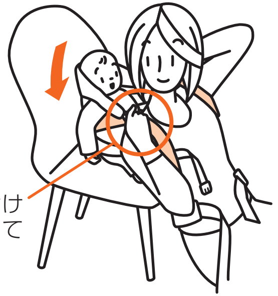
※通気性が確保されているのでお子さまの呼吸には支障ありません。

おんぶのはずしかた

1 サポートバックルをはずし、腰パッドをはずす。

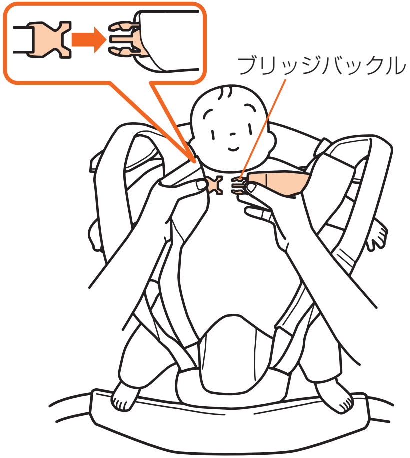
2 お子さまを背中からおろす

※他の人に介添えしていただくとより安全に行えます。



肩ベルトの付け根部分を持ってください。

3 お子さまを安全な場所へ寝かせ、ブリッジバックルをはずす



4 足と腕を子守帯から抜き、お子さまをおろす

足ぐりベルトを引っぱり、お子さまの足を足ぐりベルトから抜きます。
腕も子守帯から抜いて、抱き上げます。

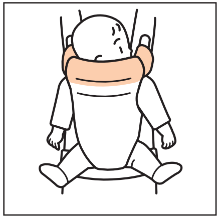
Q&A

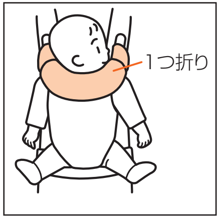
Q タテだっこ・おんぶ時に子供が埋もれてみえます。

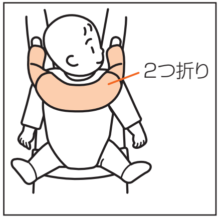
A ヘッドサポートを折りたたんで高さを調節してください。
下記「ヘッドサポートの使いかた」を参照してください。

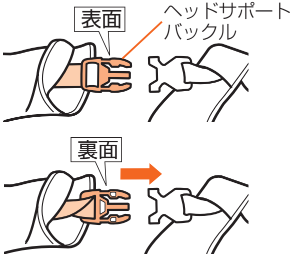
ヘッドサポートの使いかた

- お子さまの頭をしっかり支えたい場合は、ヘッドサポートをすべて伸ばしてご使用ください。
- 1回折り返すと、お子さまの頭を支えながらお子さまの視界を広げることができます。
- お子さまの視界をさらに広げたい場合は、もう1回ヘッドサポートを折り返してください。







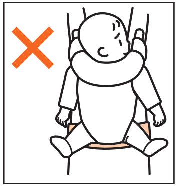


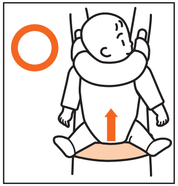
ヘッドサポートを2回折る場合は、ヘッドサポートバックル(オス)を裏面にして差し込んでください。
バックルを表面のまま差し込むと、うまくヘッドサポートが折れない場合があります。

おんぶをするときはあらかじめヘッドサポートベルトの長さやヘッドサポートの高さ位置を調節してください。
おんぶをしてから使用者が調節することはできません。

Q タテだっこ・おんぶ時、肩に負担がかかります。

A
- ヘッドサポートベルトを短めに調節してください。
- わきベルトを少しゆるめに調節してください。腰に荷重がかかります。
  ヘッドサポート・わきベルトはゆるめすぎると密着感がなくなりお子さまの身体が不安定になる場合がありますのでご注意ください。
- 腰ベルトにすき間がないか確認してください。
  すき間がある場合はベルトを締めなおしてください。
- お子さまのおしりの位置が腰ベルトより高くなるように調節してください。





肩ベルトの長さや、腰ベルトの位置を調節しなおしてください。またはお子さまの位置を調節してください。
「お子さまの位置(だっこの高さ)を調節する」(23ページ参照)

つづく

Q 腰パッドをどのあたりに装着すれば良いですか。

A 負担を軽減するには、ウエストより少し下の、腰骨の位置に装着するのがおすすめです。
使用者が快適な位置に装着してください。

Q ヨコだっこ時に赤ちゃんの手が使用者の身体との間にはさまり、気になります

A 子守帯全体を左右方向に動かし、お子さまの手がはさまらないようにしてください。

Q ヨコだっこ時、腰パッドまとめカバー部が使用者の身体にあたります。

A 子守帯全体を左右方向に動かす、またはわきベルトの長さを調節し、子守帯の高さを調節してください。

Q タテだっこ·おんぶで使用する際、赤ちゃんのわきの下があたります。

A お子さまのおしりの下にタオルなどを敷いて、お子さまの高さを調節してください。(23ページ参照)
わきの下が圧迫されていると、うっ血するおそれがあります。
調節しても心配な場合には、コンシューマープラザまでお問い合せください。

Q タテだっこ・おんぶ時、密着感が足りない気がします。

A わきベルトとヘッドサポートベルトを短く調節することで、密着感を高めることができます。
(7ページ参照)

Q タテだっこ・おんぶ時、ベルトのあまりが長くたれ下がります。

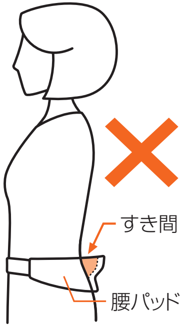
A わきベルトはベルトどめゴム、腰ベルトは腰ベルト収納ポケットでまとめることができます。
(7ページ参照)

Q おんぶしてからヘッドサポートを調節できますか？

A おんぶの際には、あらかじめヘッドサポートベルトの長さを調節し、折りたたむ場合には折りたたんでから、使用してください。おんぶした後の調節はできません。

Q タテだっこ(おんぶ)のとき、腰パッドと使用者の身体の間にすき間ができてしまいます。

A 腰ベルトがゆるい状態でタテだっこ(おんぶ)すると、すき間ができることがあります。腰ベルトの長さを短く調節して、腰パッドと使用者の身体の間に、すき間ができないようにしてください。



お手入れ

本体・ヨコだっこシートのお手入れ

日常のお手入れ

- 洗濯は水またはぬるま湯で押し洗いし、形を整えて日陰で平干ししてください。
- 軽い汚れの場合は、湿らせた布でたたいて落としてください。

洗濯についてのご注意

- 色落ちすることがありますので、他の洗濯物とは別に洗ってください。また、つけ置き洗いも避けてください。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。漂白剤・蛍光剤入りの洗剤は肌あれ、湿疹などの原因となりますので使用しないでください。
- ヨコだっこシートは、面ファスナー（オス）が他の洗濯物を傷つけるおそれがありますので、別に洗ってください。
- 洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。
- 洗濯表示、生地素材については、製品本体に縫製されております洗濯ラベルをご参照ください。

⚠注意
お子さまのよだれなどが生地に付きますと、生地がかたくなる場合がありますのでその際には早めに洗濯してください。
かたくなった生地でお子さまの肌を傷つけるおそれがあります。

点検とアフターサービスについて

- ご使用の際には、製品のほつれ、傷、やぶれ、バックルなど部品の破損がないか、確認してください。

⚠注意
上記を１ヵ所でも見つけたときには、すぐに使用を中止してください。
そのまま使用すると、故障や事故につながるおそれがあります。

- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ご使用中に子守帯の破損、異常、やぶれ、ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。お問い合わせの際は、収納袋内側の洗濯ラベル裏側をご覧になって製品名・ロットNo.をお知らせください。
- 本製品の修理/部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。

SG マークの被害者救済制度

SG マーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。
子守帯の場合は、お買い上げ日より３年以内が有効期間となります。

●賠償についてのご注意

認定された製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害（人的損害）について賠償する制度です。

●製品の欠陥により事故が起きた場合

損害を被った消費者（お子さまなどの場合は、保護者）が、事故発生日から 60 日以内に下記までご連絡願います。

一般財団法人　製品安全協会
東京都台東区竜泉 2 丁目 20 番 2 号
ミサワホームズ三ノ輪 2 階
TEL.(03)5808-3300

●事故の届出に必要な項目

① 事故の原因となった製品現品
・製品名称、ロット No.　・購入先、購入年月日
② 事故発生の状況
・事故発生年月日　・事故発生場所　・事故発生状況
③ 被害の状況
・被害者の氏名、年齢、性別、住所　・被害の状況

コンビ製品をご購入いただいた方へ、知って得する情報です

コンビ製品＆子育て情報サイト「コンビタウン」に会員登録すると、便利でお得なサービスがいっぱいです！

【主なサービス特典】

☆お得な情報が満載のメールマガジン

アンケート募集の他、イベントやポイントプレゼントのお知らせ、お得なコンビ製品のセール情報などをメールマガジンで会員の皆さまにお知らせします。

☆ポイントを貯めて、コンビミニでお買い物

コンビ製品の所有品登録やアンケートの回答、コンテンツへの応募などでコンビタウンポイントが貯まります。
貯まったポイントはコンビミニのお買い物ポイントとして使用可能！１ポイント＝１円として使えます。
※詳しくはWebサイトをご覧ください。

●特典内容は変更されることがあります。ご了承ください。

その他にも会員ならではの特典をご用意しております。
ご入会は「コンビタウン」Webサイトのトップページからお願いします。

アクセスはこちら　⇒　http://www.combibaby.com/　　コンビタウン　検索

コンビ株式会社

■公式ホームページ　http://www.combi.co.jp
■公式オンラインショップ　http://www.combishop.jp
■公式製品＆育児情報サイト・コンビタウン　http://www.combibaby.com

商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ（Customer Service Center）
受付時間：10:00〜17:00（日祝日、年末年始を除く）
〒339-0025　埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田 271
■総合受付（各種ご相談）窓口　商品に関するお問い合わせ / 修理のご要望 / 各種ご相談 / その他
TEL.(048)797-1000　FAX.(048)798-6109
■部品販売（相談）窓口　部品購入のお問い合わせとご注文
TEL.(048)797-1001　FAX.(048)798-6109

コンシューマープラザ（Customer Service Center）／西日本担当
受付時間：10:00〜17:00（土日祝日、年末年始を除く）
〒540-0026　大阪府大阪市中央区内本町 2-4-16
TEL.(06)6942-0379　FAX.(06)6942-0302
＊コンシューマープラザホームページ　http://www.combi.co.jp/cp/

146396090　13.10